2015 年度入学試験問題

日本史B

（試験時間　14：50～15：50　60分）

1．この問題は，入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ，解答してください。

2．解答用紙は，記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。

3．解答は，必ず解答欄に記入してください。なお，解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。

4．解答は，HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し，訂正する場合は，プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に，マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また，折りまげたり，汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。

5．解答用紙には，受験番号と氏名を必ず記入してください。

6．マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は，コンピュータ処理上非常に重要なので，誤記のないよう特に注意してください。

I 次の1から3の文章を読み，それぞれの設問に答えなさい。解答は，漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1 縄文時代はおよそ1万年以上続き，その社会の基本単位となる集団の規模にも変遷があるが，竪穴住居の出土状況からみて，標準的には4～6軒程度の世帯から構成されていたと推測される。これらの集団は，それぞれ近隣の集団だけでなく，さらに遠方の集団と直接・間接に結びつき，相互に広範な交流を展開していた。そうした状況は，土器の他，石器の原料となる黒曜石や［ A ］，ひすい（硬玉）①などの原産地と消費地の分布から知ることができる。黒曜石では長野県の［ B ］産や伊豆の神津島産のものが関東地方まで広く分布している。また北海道の［ C ］産の黒曜石が樺太（サハリン）の遺跡で出土しており，海を越えた交流のあったことが確認されている。

問1 空欄Aに入る，西日本に広く分布する石器の原料の名称は，主要産地である四国のある県の旧国名（例：大和・越前）に由来している。その石器の原料の名称をカタカナで記しなさい。

問2 下線部①の半透明で緑色のひすい（硬玉）は，勾玉などの原料として用いられた。その原産地として知られている場所を次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

ア．新潟県姫川・糸魚川流域　　イ．新潟県信濃川流域

ウ．富山県神通川流域　　エ．石川県犀川流域

オ．福井県九頭竜川流域

問3 空欄Bに入る地名を記しなさい。

問4 空欄Cに入る地名を記しなさい。

2 630年にはじまる遣唐使は，唐から先進の政治制度や東西交流の文物をもたらし，古代日本の政治や文化に大きな影響を与えた。遣唐使に同行して多数の留学生や留学僧が派遣されたが，奈良時代では，［ D ］・吉備真備や玄昉らが有名である。［ D ］は玄宗皇帝に重用され，けっきょく帰国することなく唐で一生を終える

が，真備と玄昉は多くの文物を携えて735年に帰国した。その後まもなく，政権の中枢をになっていた藤原四子（不比等の四人の子）が急逝し，橘諸兄が政権を担当すると，真備・玄昉の二人も登用された。大宰府に赴任していた四子の一人宇合②の長子広嗣は，この政情に不満をいだき，740年，真備・玄昉らを政権から排除すべきことを求めて反乱を起こした。乱はまもなく平定されるが，朝廷に大きな衝撃を与え，聖武天皇は平城京を離れ，［ E ］，難波宮，紫香楽宮などに都を転々と移すことになった。

問5　空欄Dの人物は唐の詩人李白らと交友があり，また「あまの原　ふりさけ見れば　春日なる　三笠の山に　いでし月かも」（『古今和歌集』）の歌で知られている。その人物の姓名を記しなさい。

問6　下線部②の人物を祖とする家系は何とよばれているか。次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

ア．南家　　イ．北家　　ウ．西家　　エ．式家　　オ．京家

問7　空欄Eに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問8　下記の奈良時代の〔出来事〕a～eについて，その時期の古い順に並べたものとして正しいものを，次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

〔出来事〕a．『日本書紀』が完成する。

b．渤海との外交が始まる。

c．三世一身の法が施行される。

d．東大寺大仏開眼供養がおこなわれる。

e．長屋王の変が起こる。

ア．a→b→e→d→c　　イ．a→e→d→c→b

ウ．a→c→d→e→b　　エ．a→b→c→e→d

オ．a→c→b→e→d

3　朝廷は902年，正当な手続きを経ていない荘園の停止を命じたり（延喜の荘園停止令），班田の励行をはかるなどして令制の再建をめざしたが，効果をあげることはできなかった。914年に［ F ］が醍醐天皇に提出した「意見封事十二カ条」では地方政治の乱れを指摘し，改革を提言している。醍醐天皇の時代は，村上天皇

の時代とともに，「延喜・ G の治」と称され，天皇親政の理想的時代とたたえられたが，実際には律令体制が大きく変質をとげる時代であった。やがて朝廷は地方の実情に対応して，国司に一定額の税の納入を請け負わせる一方，国内の行政に関する裁量権を大幅に付与する方針をとるようになった。現地に赴任して指揮をとる国司の責任者は受領と称され，徴税請負人の性格を強めた受領には私腹を肥やすことに努めるものが多かった。平安末期成立の説話集『 H 』には「受領は倒るる所に土をもつかめ」という，受領の強欲を示す話が載せられている。こうして国司をはじめとする官職が利権視され，私財を出して朝廷の儀式や寺社の造営を助け，その代償として国司などの官職に任じられること③もおこなわれるようになった。

問９　空欄Ｆに入る人物の姓名を記しなさい。

問10　空欄Ｇに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問11　空欄Ｈに入る書名を記しなさい。

問12　下線部③のような売官の一種を何というか。その名称を記しなさい。

II　次の1と2の文章を読み，それぞれの設問に答えなさい。解答は，漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1　開発領主が成長すると，国司の圧迫などから所領を守るため，中央の有力者に寄進して荘園とする動きが広がった。寄進を受けた有力者は本家・領家(a)として所領を保護し，開発領主は下司・公文などの荘官(b)に任じられ，現地の管理や年貢徴収などにあたった。一方で，開発領主の中には在庁官人(c)になる者がおり，彼らは公領開発にも携わった。公領開発が進むと，郡・郷・保などの行政単位への再編成が起こり，郡司・郷司・保司が徴税を請け負うようになった。こうして荘・郡・郷・保などが並立する枠組みが出来上がり，土地台帳である計帳(d)が作られて租税賦課の基準とされた。このような土地制度を荘園公領制(e)とよんでいる。

荘園は院政の経済基盤の一つで，院・女院・御願寺などに寄進された荘園群は，鎌倉時代後期に両統に分裂した皇統の経済基盤となった①。大寺社もまた荘園を領有し，社会に影響力を持っていた。しかし，現地の荘園では地頭による支配権拡大が進行し，年貢の未納や土地の押領などの紛争が発生した。そのため荘園領主は，一定額の年貢の納入を地頭に請け負わせたり，土地を分割して相互の支配権を認め合う［ A ］を採用するといった対応をとった。地頭の中には度を超した横暴を働く者もおり，百姓がその非法を訴える事態②になることもあった。

荘園のネットワークは，貢納物の運搬などを通し，人や物の移動を促進していった。農業や手工業が発達し物資の取引が増えると，荘園の中心地や交通の要地などで定期市③が開かれ，遠隔地取引の際には為替が用いられるようになり，商業も盛んになっていった。荘園領主の中には，たとえば石清水八幡宮が［ B ］座の本所として座衆に特権を認めるなど，商工業を保護する公家や寺社があった。

問1　波線部a～eについて，これらの中に誤りの箇所が一つある。その記号を記したうえで，もっとも適切な語に改めなさい。

問2　下線部①について，両統のうち持明院統の経済基盤となった荘園群の名称を記しなさい。

問3　空欄Aに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問４　下線部②について，鎌倉時代に百姓が地頭の非法を訴えた史料として当てはまるものを次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。なお，史料は読みやすさを考慮し，一部改めている。

ア．尾張国郡司・百姓等解(げ)し申し請(こ)ふ官裁(かんさい)の事

裁断せられむことを請ふ，当国の守(かみ)藤原朝臣元命(あそんもとなが)，三箇年の内に責め取る非法の官物(かんもつ)，并(なら)びに濫行(らんぎょう)・横法(おうぼう)三十一箇条の愁状(しゅうじょう)。(中略)

一，裁断せられむことを請ふ，元命朝臣(もとながあそん)の子弟・郎等(ろうとう)，郡司・百姓の手より雑物(ぞうもつ)を乞ひ取る事。

イ．一，諸国地頭，年貢・所当(しょとう)を抑留せしむる事

右，年貢を抑留するの由，本所の訴訟あらば，すなはち結解(けちげ)を遂げ，勘定を請(う)くべし。犯用(はんよう)の条，もし遁(のが)るるところなくば，員数に任せてこれを弁償すべし。ただし，少分(しょうぶん)においては早速沙汰を致すべし。過分(かぶん)に至っては三ヶ年中に弁済すべきなり。

ウ．阿テ河ノ上村百姓ラツツシテ(謹)言上

一，ヲンサイモク(御材木)ノコト，アルイワチトウ(地頭)ノキヤウシヤウ(京上)，アルイワチカフ(近夫)トマウシ(申)，カクノコトクノ人フ(夫)ヲ，チトウ(地頭)ノカタエセメツカワレ(責使)候ヘハ，(中略)メコ(女子)トモヲヲイコメ(追籠)，ミミ(耳)ヲキリ，ハナ(鼻)ヲソキ，カミ(髪)ヲキリテ，アマ(尼)ニナシテ，ナワホタシ(縄絆)ヲウチテ，サエナマン(苛)ト候ウテ，セメ(責)センカウセラレ候アイタ，(後略)

エ．一，諸国百姓，刀・脇指(わきざし)・弓・やり・てつはう(鉄砲)，其外(そのほか)武具のたぐひ(類)所持候事，堅く御停止候。其子細は，入(い)らざる道具をあひたくはへ(相蓄)，年貢・所当(しょとう)を難渋せしめ，自然，一揆を企て，給人(きゅうにん)にたいし非儀(ひぎ)の動(はたらき)をなすやから(族)，勿論御成敗あるべし。

オ．一，男女衣類の事，これ以前より御法度の如く，庄屋は絹紬(つむぎ)・布・木綿を着すべし。わき百姓は布・もめんたるべし。右のほかは，えり・帯などにも仕(つかまつ)るまじき事。(中略)

一，来春より在々所々において，地頭・代官，木苗を植え置き，林を仕立て候様(よう)申しつくべき事。

問５　下線部③について，その情景が『一遍上人絵伝』に描かれていることで有名な，備前国に開かれた市の名称を記しなさい。

問６　空欄Ｂに入るもっとも適切な語を漢字４字で記しなさい。

2　院政を主導した上皇たちは仏教を信仰し，自ら出家して法皇(f)となったほか，熊野詣・高野詣に出かけたりした。一方，南都北嶺(g)とよばれた興福寺や延暦寺は，たとえば延暦寺が日吉神社(h)の神輿（しんよ）を掲げて強訴に及ぶなど，朝廷にとって無視できない存在だった。寺社勢力の中には平氏政権と対立した寺院もあり，このうち興福寺(i)や東大寺は平氏の軍勢から焼き打ちにされるという事態に至った。のちにこれらの寺院は再建されたが，東大寺の再建においては勧進上人として寄付を集めた貞慶(j)の尽力が大きかった。

鎌倉時代に宋から伝わった禅宗は武士の間に広まり，中でも臨済宗は武家政権との結びつきを深めていった。たとえば，北条時頼(④)の帰依を受けた蘭溪道隆は鎌倉に建長寺を開き，足利尊氏・直義らが帰依した［　Ｃ　］は京都に天竜寺を開いた。室町幕府は臨済宗を保護し，南宋の官寺の制にならった五山・十刹の制をつくって管理した(⑤)。臨済僧の中には幕府の政治・外交顧問として活躍したり，五山文学を発展させる者もいるなど，政治・文化の両面で足跡を残した。

これに対し，浄土真宗（一向宗）は農民や地方武士の間で普及し，やがて商人や交通業者などにも広まっていった。中世後期になると一向宗門徒による地域勢力が現れ，加賀国の国人や農民らによる一向一揆は，対立した守護を倒し，自らが加賀国内を支配するに至った(⑥)。また，一向宗の寺院や道場を中心に［　Ｄ　］町がつくられ，門徒の商工業者が集住した。一向一揆の勢力は織田信長の前にも立ちはだかったが，最大の拠点だった石山本願寺が陥落して衰退に向かった。

問７　波線部ｆ～ｊについて，これらの中に誤りの箇所が一つある。その記号を記したうえで，もっとも適切な語に改めなさい。

問８　下線部④について，この人物が活躍した時期に当てはまらない出来事を次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

ア．迅速で公正な裁判を行うため引付が置かれ，引付衆が任命されて御家人の所領に関する訴訟を担当した。

イ．北条氏一族の名越光時らが前将軍九条頼経と結びついた結果，謀叛(むほん)の陰謀に加担したとして頼経が京都へ送還された。

ウ．有力御家人だった三浦泰村が北条氏と対立し，鎌倉で合戦に及んだが，泰村一族は滅ぼされた。

エ．御内人の平頼綱が安達泰盛を滅ぼして権勢を誇ったが，我が子を将軍に就けようと企てているとして滅ぼされた。

オ．後嵯峨上皇の皇子である宗尊親王が鎌倉に下り，6代将軍に就任して初めての皇族将軍となった。

問9　空欄Cに入る僧侶の名を記しなさい。

問10　下線部⑤について，五山・十刹の寺院を管轄し，僧侶の人事をつかさどるために室町幕府が置いた僧職名を記しなさい。

問11　下線部⑥について，加賀の一向一揆を表す史料として当てはまるものを次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。なお，史料は読みやすさを考慮し，一部改めている。

ア．一天下の土民蜂起す。徳政と号し，酒屋・土倉・寺院等を破却せしめ，雑物(ぞうもつ)等恣(ほしいまま)にこれを取り，借銭等悉(ことごと)くこれを破る。管領これを成敗す。凡(およ)そ亡国の基，これに過ぐべからず。日本開白(かいびゃく)以来，土民蜂起是(こ)れ初めなり。

イ．近日四辺(しへん)の土民蜂起す。土一揆と号し，御徳政と称し借物(しゃくもつ)を破り，少分(しょうぶん)をもって質物(しちもつ)を押し請(う)く。縡(こと)は江州(ごうしゅう)より起こる。（中略）去る正長年中（中略）この事あり。すでに洛中に及び了(おわ)んぬ。（中略）今土民等，代始めにこの沙汰は先例と称すと云々(うんぬん)。

ウ．ある人曰(いわ)く，播磨国土民，旧冬の京辺(きょうへん)の如く蜂起し，国中の侍を悉(ことごと)く攻むるの間，諸荘園代官のみならず守護方軍兵，彼等のために，あるいは命を失い，あるいは追い落とさる。一国の騒動，希代の非法なりと云々(うんぬん)。

エ．両陣の武家衆各(おのおの)引き退き了(おわ)んぬ。山城一国中の国人等申し合す故なり。自今(じこん)以後においては両畠山方は国中に入るべからず。本所領共は各本(おのおのもと)の如くたるべし。新関等一切これを立つべからずと云々(うんぬん)。

オ．百姓中合戦シ，利運ニシテ，次郎政親(まさちか)ヲ討取テ，泰高(やすたか)ヲ守護トシテヨリ，百姓トリ立テ富樫(とがし)ニテ候アヒダ，百姓等ノウチツヨク成テ，近年ハ百姓ノ持タル国ノヤウニナリ行キ候コトニテ候。

問12　空欄Dに入るもっとも適切な語を記しなさい。

III 次の1から3の文章を読み，それぞれの設問に答えなさい。解答は，漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1　徳川光圀は，1628年に水戸で，徳川頼房（徳川家康の11男）の3男として誕生した。9歳で元服して光国と名乗った（その後，光圀と改める)。“光”の字は将軍徳川家光より与えられたものである。6歳で兄の頼重（後に讃岐国高松藩主）を越えて世子になっている。①少年期はかぶき者のような格好をするなど非行的言動も目立ったようだが，18歳の頃，司馬遷の『史記』伯夷伝を読んで感銘を受け，その時から学問に志したという。

光圀は，1661年から1690年まで水戸藩主を勤め，②儒教にもとづいた政治を行おうとした。事蹟としては，領内の寺社整理，のちに『 A 』と呼ばれる歴史書の編纂（さん）開始，那須国造碑修復等の文化財保護事業などが知られる。また，光圀は，自主・自立の精神に富み，父親譲りの野性的な気性をもっていたとも言われる。徳川綱吉の生類憐みの政治の最中には，親しい大名に「農村へ出かけ鳥を狙った。幕府に知られたら牢屋（ろうや）入りだ」との手紙を書くなど③綱吉政権に対して反抗的な態度を示している。

藩主の地位を兄の子綱条に譲って引退すると，光圀は水戸から離れた西山に隠居所を建てて隠棲したが，1700年に没するまで，領内を巡見するなど藩政に関与し続けた。

問1　下線部①に関連して，将軍徳川家綱の下で幕府は，社会問題となっていたかぶき者や牢人の取締りを強化した。それとかかわって，牢人の増加を防ぐため幕府が緩和した原則の名称を記しなさい。

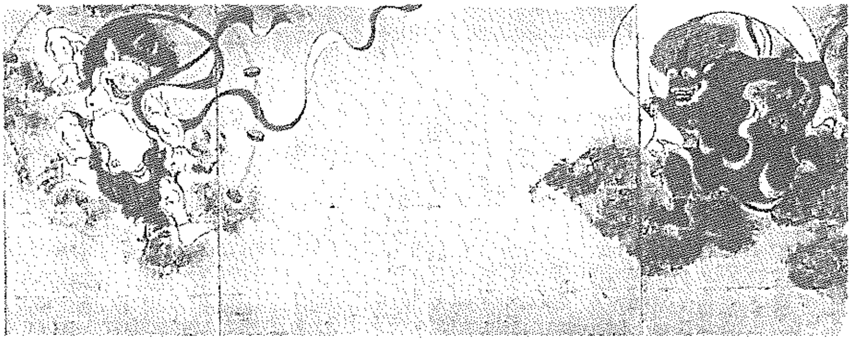
問2　下線部②に関連して，徳川綱吉が1683年に出した武家諸法度（天和令）では，儒教を背景に第一条を「文武 B を励し，礼儀を正すべき事」と改めている。空欄Bに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問3　空欄Aに入る書名を記しなさい。

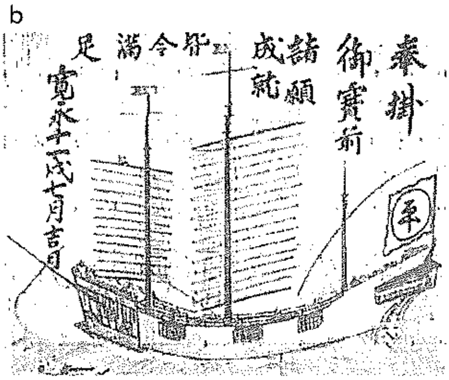
問4　下線部③に関連して，綱吉政権下で置かれ，将軍の命令を老中に伝え，老中からの上申を将軍に取り次いだ役職の名称を記しなさい。

2　次の写真ａ～ｄは，いずれも近世に描かれた絵画である。

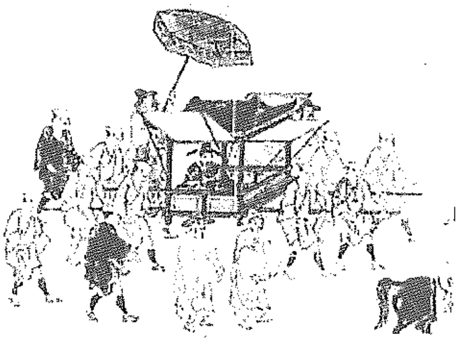
ａ



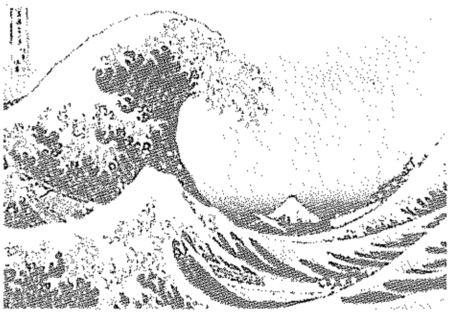
ｂ



ｃ



ｄ



問5　写真ａについて，その作者名を記しなさい。

問6　写真ｂについて，その説明として正しいものを次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

ア．この船は，幕府から朱印状を与えられて海外に渡航した船である。

イ．この船は，大坂から江戸へ木綿・油等を運んだ菱垣廻船である。

ウ．この船は，松前と大坂の間で活動した北前船である。

エ．この船は，長崎に入港したオランダ船である。

オ．この船は，太平洋の横断に成功した咸臨丸である。

問7　写真cは，朝鮮が日本に派遣した使節を描いたものである。近世から近代にかけての日本と朝鮮の関係の説明として**誤っているもの**を次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

ア．豊臣秀吉は，朝鮮に対し，日本への入貢を要求し，朝鮮がこれを拒否すると，朝鮮に大軍を送って戦争をしかけた。

イ．朝鮮との講和が実現し，対馬藩主宗氏と朝鮮との間で己酉約条が結ばれた。

ウ．釜山に倭館が置かれ，対馬藩士らが常駐した。

エ．日本は，主に長崎を通じて，朝鮮から朝鮮人参を輸入した。

オ．江華島事件の後，日本は朝鮮政府に迫って，不平等条約である日朝修好条規を結んだ。

問8　写真dの作者が活動した時期の文化に関する説明として，それとは時期が異なるものを，次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

ア．菅江真澄が，東北地方をはじめ各地を旅して紀行文を記した。

イ．菱川師宣が，女性の流行を取り入れた「見返り美人図」を描いた。

ウ．伊能忠敬が，日本地図作成のために全国の沿岸を測量した。

エ．歌舞伎では，怪談物として有名な「東海道四谷怪談」が初演された。

オ．人情本の作者である為永春水が，幕府に処罰された。

3　次の史料は，江戸の蘭方医である坪井信良が，1853（嘉永6）年6月13日付けで，実家がある高岡の兄佐渡養順に送った手紙の一部分である（史料の一部を，読みやすさを考えて，改変した）。

「凡（およそ）二百五十余年来，平世安全の御代なるに，④近来折々浦賀表へ異国船渡来いたし，毎時多少騒がせ候義これ有るに付き，御手当もこれ有り候様子のところ，去年⑤蘭船長崎表へ到着の刻，又ぞろ翌年交易願いのため亜墨利加（あめりか）船指し向け申すべき旨

注進つかまつり候由，…当三月之頃，伊豆之国韮山に於いて武芸殊に炮術（ほうじゅつ）にて有名の士江川太郎左衛門と申す旗本これ有り，浦賀台場等の御固め万事この人に仰せ付けられ，⑥…追々其用意有るべきの内，当六月三日暁天，異国船数艘渡来いたし候…，これ迄とは違い，江戸近く侵入つかまつり候に付き，浦賀近辺は申すに及ばず，都市などの騒動大方ならず，評議紛々，たしかのところは分かり兼ね候えども，やはり交易願いと申すことにて，何分これ迄右の願い数度に及び候えども，お聞き入れこれ無き故か，⑦この度は異人も大いに奮激いたし，…」

（歴史学研究会編『日本史史料４近代』）

問９　下線部④に関連して，1837年に漂流民送還のために浦賀に来航して砲撃されたアメリカ船の名称を記しなさい。

問10　下線部⑤に関連して，長崎でオランダ文献を研究して『暦象新書』を訳述し，天文学に貢献した人物の姓名を記しなさい。

問11　下線部⑥に関連して，江川太郎左衛門の活動として正しいものを次の中から一つ選び，その記号をマークしなさい。

ア．海軍伝習所の設置　　イ．蝦夷地の調査　　ウ．反射炉の建設

エ．越荷方の設置　　オ．講武所の設置

問12　下線部⑦に関連して，1846年に浦賀に来航して通商を要求したアメリカ東インド艦隊司令長官の名前を記しなさい。

IV 次の1から3の文章を読み，それぞれの設問に答えなさい。解答は，漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1 明治新政府の発足とともに発せられた「五箇条の誓文」および「 A 」は，統治の基本原理と基本組織を成文化したもので，憲法の先駆的形態といえるものであった。そして，大日本帝国憲法制定の契機となったのは，征韓論争に敗れて下野した板垣退助，後藤象二郎，江藤新平らが B を結成して「民撰議院設立の建白書」を左院に提出し，国会開設を求めたことにある。

参議の大久保利通と伊藤博文は板垣や台湾出兵に反対して参議を辞職した木戸孝允と大阪で個別に会談し，譲歩案を示しながら，二人の政府復帰をはかった。この大阪会議の合意にもとづいて，「漸次立憲政体樹立の詔」が発せられ，立法諮問機関である元老院が創設された①。元老院は「日本国憲按」を起草したが，1880年に政府によって採用を拒否された。

明治十四年の政変②後，政府は伊藤らをヨーロッパに派遣して憲法調査にあたらせた。伊藤は，ベルリン大学のグナイスト，ウィーン大学の C らからプロイセン流の憲法理論を学び，1883年8月に帰国した。その後，宮中に制度取調局を設置して伊藤が長官となり，井上毅らを御用掛として憲法起草作業にかかり，1888年4月に成案をえて天皇に奉呈した。この成案は同年新設の D で審議がかさねられ，1889年2月，「大日本帝国憲法」が発布された。

問1 空欄Aに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問2 空欄Bに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問3 下線部①について，同時に設置された司法権を行使する最高機関の名称を記しなさい。

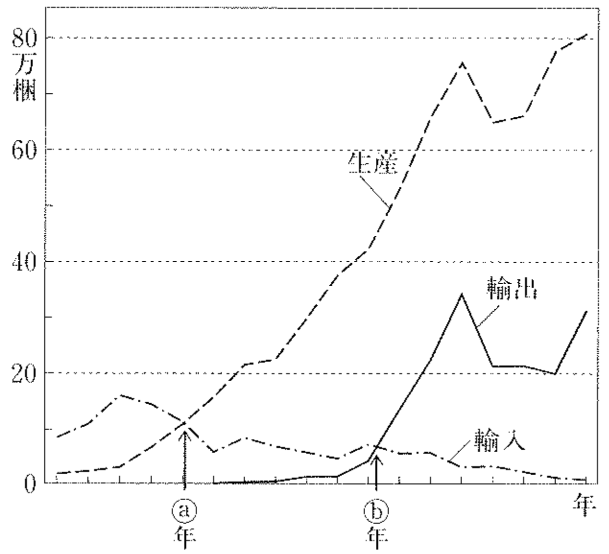
問4 下線部②と同時期に，北海道開拓使官有物の払下げ事件が起きたが，官有物の払下げを受けようとした，薩摩藩出身の実業家の姓名を記しなさい。

問5 空欄Cに入る人物の名を記しなさい。

問6 空欄Dに入るもっとも適切な語を記しなさい。

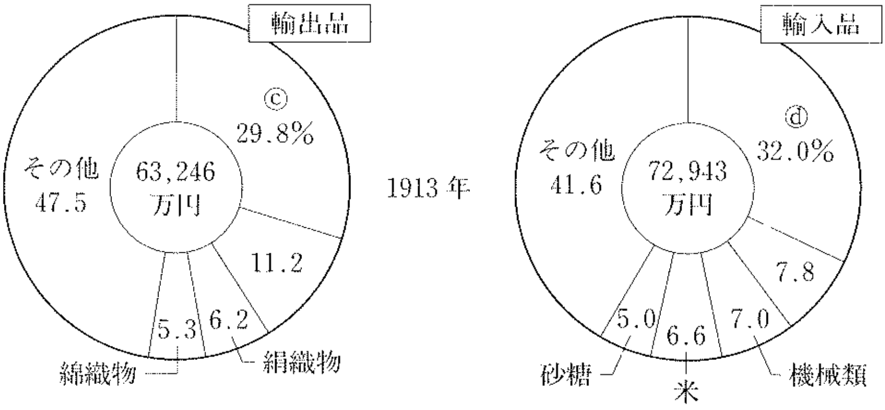
2　Ⅰの折れ線グラフは綿糸の生産と輸出入の推移を示したものであり，Ⅱの円グラフは1913年の品目別輸出入の割合を示したものである。

Ⅰ　綿糸の生産と輸出入の推移



（飯島幡司『日本紡績史』より）

Ⅱ　1913年品目別の輸出入の割合



（『日本貿易精覧』より）

問7　綿糸の生産量が輸入量を上まわったⅠのグラフ上のⓐは何年か。次の中から選び，その記号をマークしなさい。

ア．富岡製糸場に器械製糸が導入された1872年。

イ．第1回内国勧業博覧会が開催された1877年。

ウ．千住製絨所が設立された1879年。

エ．紡績連合会が第1回操業短縮を実施した1890年。

オ．豊田佐吉が木製力織機を発明した1897年。

問8　Ⅰのグラフ上のⓑの時点で，綿糸の輸出量が輸入量を上まわった理由について，正しいものを次の中から選び，その記号をマークしなさい。

ア．渋沢栄一らが大阪紡績会社を設立したことによる。

イ．日清戦争後中国・朝鮮市場への輸出が急増したことによる。

ウ．日露戦争後大紡績会社が合併して独占的地位を固めたことによる。

エ．日露戦争後アメリカ向けの輸出が急増したことによる。

オ．工場法の公布により労働者が保護されたことによる。

問9　Ⅱのグラフのⓒに入る輸出品目を次の中から選び，その記号をマークしなさい。

ア．石炭　　イ．生糸　　ウ．緑茶　　エ．水産物　　オ．綿糸

問10　Ⅱのグラフのⓓに入る輸入品目を次の中から選び，その記号をマークしなさい。

ア．綿糸　　イ．石油　　ウ．毛織物　　エ．鉄類　　オ．綿花

3　日中戦争が始まると，国民を戦争体制に動員しなければならなくなり，1937年9月，近衛内閣は，挙国一致・尽忠報国・堅忍持久を目標として，国民精神総動員運動を主導した。また，戦争遂行のための物資動員計画，統制経済を確立することが，政府にとって当面の急務であるとして［　E　］を創設した。

1938年4月には，政府は国家総動員法によって人的・物的資源を統制運用できるようになった。軍需産業には，輸入資材や資金が集中的に割り当てられ，1939年7月公布の［　F　］によって，国民を強制的に重要産業に就労させた。

民需品の生産や輸入はきびしく制限され，生活必需品は品不足となったため，政

府は10月に G を公布し，価格を据え置いて値上げを禁止し，統制経済をさらに強化したが，闇取引が横行する結果となった。

問11　空欄Eに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問12　空欄Fに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問13　空欄Gに入るもっとも適切な語を記しなさい。